

電子版

No.31

2024/5/22

教文通信

発行所 | 長野県教育文化会議

発行人 寺尾真純

2024 年度第 63 回教文会議定期代議員会 議案書アップしました

2024 年度教文会議代議員会を 6 月 8 日にオンラインで開催します。各校の教文代議員にご参加いただき、活動方針などをご審議いただきます。議案書を「長野県教文会議ホームページ」にアップしました。裏面に討議の柱を示しますので、各校でのご審議と議論をお願いします。以下に議案書の概要を掲載します。詳細は「長野県教文会議ホームページ」をご覧ください。

- I. 事業報告 2023 年の研究会活動、総合研究会の内容をまとめています。
- II. 教育をめぐる情勢 教育改革の動向、学習指導要領—観点別評価による人格評価、子どもの貧困と教育を受ける権利、新たな管制研修、第二期高校再編などを示しました。
- III. 事業計画 ①教文会議の 2024 年度の活動のすすめ方を記しました。「学校づくりの 5 つの課題」は毎年確認してきた教文の key です。研究会の課題やすすめ方も掲載しました。②支部活動、研究会活動 2023 年度の支部と県の研究会の活動計画を掲載しました。
- IV・V. 会計 決算と予算です。研究会をはじめ、教文活動内容とあわせてご確認下さい。
- VI. 役員 2024 年度教文会議 県研究会、県事務局、支部事務局名簿です。

教文会議では、2021 年度から代議員会議案書をデータ化しホームページ掲載にしています。紙ベースの議案書はお配りしませんのでご了承いただきますようお願いいたします。

長野県教育文化会議

Email : kyobun.nagano-h@educas.jp 電話 026-234-2216

研究活動こそ、教文活動の生命線。

定期代議員会は、2024 年度の教文活動について審議決定する重要な会議です。

皆さんの声を、教文代議員を通じてお届けください。代議員の皆さん、教文会員の皆さんの声をもとに、定期代議員会では積極的な議論をお願いします。

定期代議員会 会議成立要件

代議員数の 2/3 以上の出席が必要です。

各校の代議員登録をお願いします。

登録はこちらから ⇒



教文会議第 63 回代議員会 討議の柱 《項目》

代議員会では以下の観点で議論を行います。皆さんのお考えを、各校の代表者である代議員にお伝えください。もちろん、この視点以外でも結構です。詳細・全項目は、HP でご覧ください。

1. 学習指導要領と観点別学習評価

- 観点別評価が導入された。どのように実施されているのか。
- 「主体的・対話的で深い学び」＝何が良く、何が問題か。本来あるべき深い学び、共同の学びは。
- ICT 教育の状況は。教育データ管理はどうか。『個別最適な学び』と協働学習の状況はどうか。
- 主権者教育の状況はどうか。成人年齢 18 歳引き下げに伴う指導内容について。 など

2. 研修と履歴システムとプラットフォーム

- 教職員はどんな研修を研修、研究を必要としているか？ 自主研修の意義は。
- 官制研修履歴記録システム、研修プラットフォームが導入された。研修のあり方について。 など

3. 新しい「学びの指標」をはじめとした生徒の意識実態調査

- 各校の実施状況と「実施についてアンケート」への生徒の反応など。自己肯定感は涵養されか？
- 匿名性を担保した学校、授業評価の状況は。 など

4. 高校入学者選抜制度

- 新選抜制度の取り組み。電子採点システム導入の状況は。
- 前期学力試験、後期面接試験等の影響は。 など

5. ICT, e-portfolio, 「キャリアパスポート」、など

- 一人一台端末購入にかかわり、現場での ICT 環境、活用状況と生徒・教職員を取り巻く困難点。
- 経産省「未来の教室」実証事業、Alumnote システムによる名簿一元管理とその影響は。 など

6. 高校再編「高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針」・2 期再編 3 次案について

- 「探究的な学び」、「総合学科高校・総合技術高校」「多部制・単位制高校充実拡大」、「WWL 等」普通科解体
- 再編・整備計画 当該校の状況、懇話会の様子、NSD 実施事業、定通制統廃合 など

7. 経済格差と教育への影響

- 各校でのヤングケアラーの状況。
- 「不登校生徒等の学び充実支援策」遠隔授業、通信教育活用による 36 単位修得。

8. 通級による指導

- インクルーシブな視点での特別支援教育
- 通級指導教育をはじめとする各校の状況

9. 主権者教育

- 主権者教育、成人年齢 18 歳への対応
- 生徒の自主活動、生徒会活動の様子

10. 教文会議会員を増やすこと、継承の問題

- 年度当初の加入呼びかけ。会員勧誘。教文の「見える化」の具体化。
- 教文会議の存在意義。 組合と教文の両輪とは何か
- 教文会議各研究会の活動の活性化。
- 課題別研究会再編実施と影響は。